

「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」  
(2025-26シーズン)

# Action Report





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

目次 Table of Contents

Chapter 1 イン트로ダクション

2p

- 01. MESSAGE: B.LEAGUEの想い
- 02. B.LEAGUE Hopeとは
- 03. MESSAGE: 日本生命の想い
- 04. 日本生命のスポーツ取組を通じた価値創造ストーリー
- 05. 本レポート作成背景

Chapter 2 「地域を元気に! バスケACTION」を通じて描く未来

8p

- 01. B.LEAGUE/日本生命 これまでの歩み
- 02. 「地域を元気に! バスケACTION」が目指す姿

Chapter 3 活動実績と共創事例

11p

- 01. SUMMARY
- 02. 各クラブ活動一覧
- 03. 心身の健康増進: 事例紹介
- 04. 未来世代の健全な成長: 事例紹介
- 05. DE&Iの浸透・共生: 事例紹介
- 06. 地域社会の活性化: 事例紹介
- 07. 豊かな自然環境の継承: 事例紹介

Chapter 4 未来に向けて

25p

- 01. 未来に向けて

「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」を本レポートでは略称の「地域を元気に! バスケACTION」と掲載いたします

# | Chapter 1 イン트로ダクション





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## MESSAGE：B.LEAGUEの想い

B.LEAGUEは発足以来、「バスケで日本を元気に」という理念のもと、パートナー企業、自治体、そして日頃からクラブを支えてくださるファンの皆さまに支えられ、クラブと地域が一体となった取組みを進めてまいりました。

「Social Innovationの実現」を目指し、さまざまな社会的責任活動を「B.LEAGUE Hope (B.Hope)」と称し、People / Peace / Planet の3つの領域で多様な活動を展開しています。

その中でも、サステナビリティパートナーであり、全国各地にネットワークを有する日本生命様と連携して進めているのが、「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」です。  
全国のB.LEAGUEクラブと日本生命様の全国の地域拠点が一体となり、「人」「地域」「地球環境」の3領域で、地域を元気にすることを目指した活動を昨シーズンより展開してきました。

バスケットボールを起点に、地域の皆さまに寄り添い、多くのパートナー企業様とともに課題解決へと向き

合ってきた取組みは、クラブの存在意義をさらに深める重要な営みとなっています。

本レポートは、こうしたクラブの取組みを紹介するだけでなく、地域との協働によって生まれた成果を“見える化”し、関わる皆さまと共有することを目的としています。各クラブがどのように地域と協力し合い、どのように新しい価値を生み出しているのか、クラブ同士の学び合いを促し、今後の質と広がりを生み出していくための大切な資産にもなると考えています。

本レポートに記された取組みは、クラブだけで成し得たものではありません。地域の方々の協力、パートナー企業の皆さまの支援、そして日々応援してくださるファンの皆さまの存在があってこそ実現したものです。だからこそ、このレポートが、これまでに築かれてきた信頼とつながりを再確認し、次の共創のステップへ向かう機会となることを期待しています。クラブと地域、そして多様なステークホルダーがともに未来を形づくっていくための出会いや対話が、ここからさらに広がっていくことを願っております。

B.LEAGUEコミッショナー  
島田 慎二

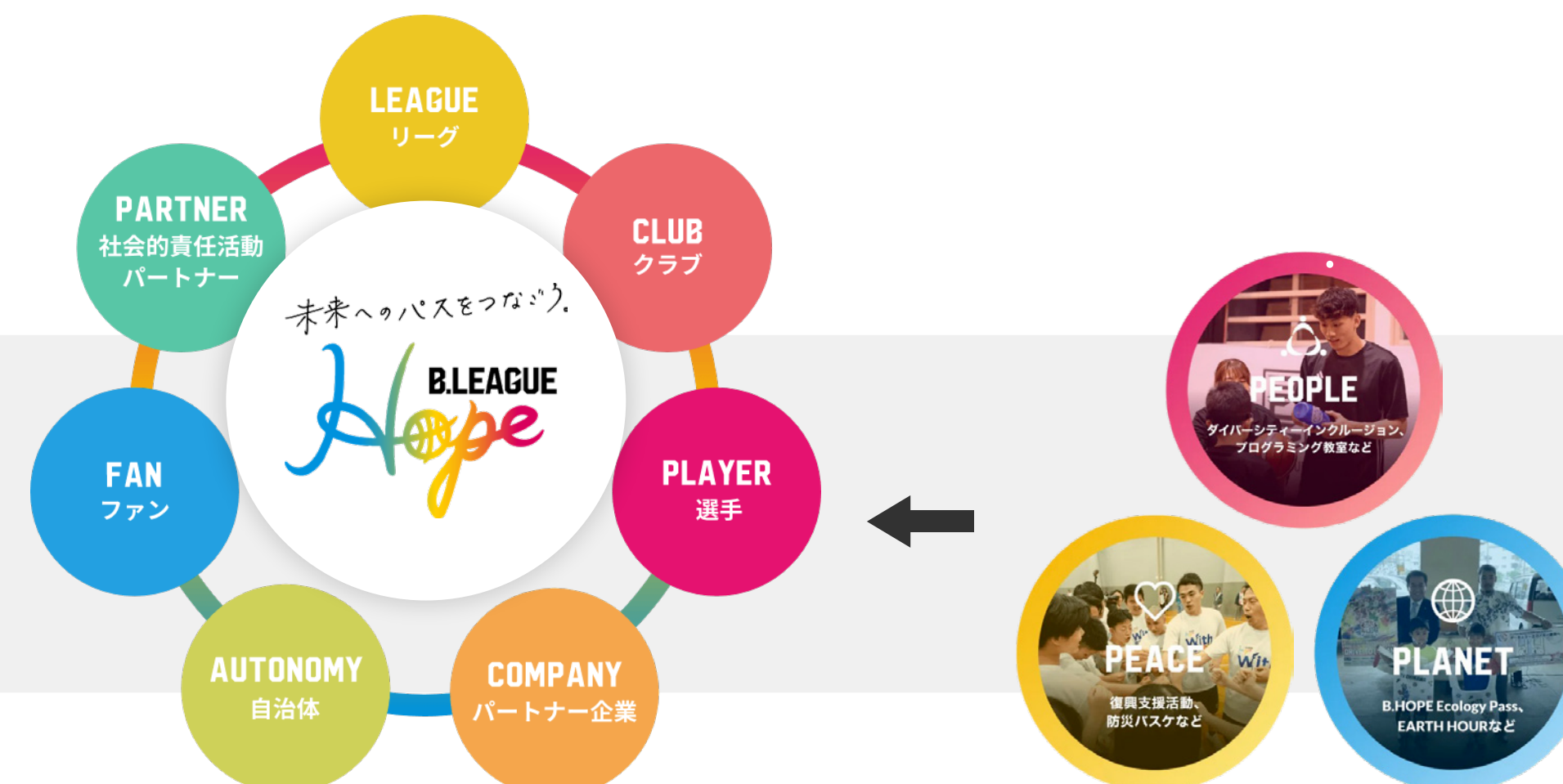




「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## B.LEAGUE Hopeとは

B.LEAGUEが、スポーツリーグとして日本で初めて立ち上げた社会的責任活動。  
PEOPLE(人類)・PEACE(平和)・PLANET(地球)の3つの領域で、クラブ・選手・ファン・地域・  
パートナー企業の方々を巻き込んで、SDGsの実現を目指したアクションを開発・推進しています。



### PEOPLE



#### 経験・機会格差支援、不登校児童支援

様々な理由で学びや体験の場が限られる子どもたち、  
不登校の児童や生徒たちへ、スポーツを通じた格差是正  
や、成長のきっかけとなる機会を提供する活動。



#### 障がいのある子どもとご家族支援、 ダイバーシティインクルージョン

障がいを持つ子どもとご家族を社会全体でサポート  
し、一緒になってスポーツを楽しめる、スポーツを通じて  
相互に理解をし、共に手を取り合える社会の実現を目指す  
活動。



#### バスケを通じた子どもたちへの 未来教育プログラム

子どもたちがバスケというスポーツを通じて様々なこと  
に興味を持ってもらう、将来の可能性を感じてもらう活動。  
EX.プログラミング教室等

### PEACE



#### 防災減災活動、復興支援活動

Bクラブや選手会と共に被災された  
地域に笑顔を、全国で震災を忘れない、  
を目標に被災地訪問、バスケクリニック、  
防災バスケなどを毎年実施。

### PLANET



#### PLANET VISION、 ごみ分別アクション

バスケの力で地域と地球の未来を守る  
B.LEAGUEの環境アクション。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## MESSAGE: 日本生命の想い

スポーツには、多くの人々に楽しさや夢・感動を与え、生涯にわたり、健康と心の豊かさをもたらす力があると考えています。

その想いを「Play, Support. ～さあ、支えることを始めよう。～」というスローガンに込め、長年にわたり全力で挑戦するアスリートと、全力で応援するすべての人を支え続けてきました。

この「支え合い」の輪をより広げていくため、2035年のありたい姿として、「スポーツの力で、あらゆる人と地域社会が繋がる起点となることで、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現に貢献する」ことを掲げ、様々な取組みを推進しています。

その中でも重要な活動が、全国のB.LEAGUEクラブと連携して進めている、「地域を元気に! バスケACTION」です。日本生命の全国に広がるネットワークと、クラブがホームタウンで築いてきた信頼や関係性を掛け合わせ、地域課題に寄り添ったプロジェクトを共に企画・実施することが、この取組みの大きな特徴です。

2024-25シーズンに立ち上がったこの取組みは2025-26シーズンにはさらに多くのクラブが参画し、活動テーマも「人」「地域社会」「地球環境」の3領域で多様に深化し、各地域の課題に寄り添ったプロジェクトへと成長を遂げています。クラブと日本生命の各支社が対話を重ねながら進めた取組みの数々は、地域とのつながりの広がりや、活動の質の向上を確かなものとしています。

本レポートに記されたクラブの皆さまとの取組みは、日本生命にとっても貴重な学びであり、スポーツを通じた地域連携の価値を再認識する重要な機会です。

本レポートを通して、各地域から生まれたつながりや広がり、スポーツがもたらす力を感じていただければ幸いです。皆さまとともに取り組んできた歩みが、今後の活動をより豊かに育むための大切な糧となることを心より願っております。

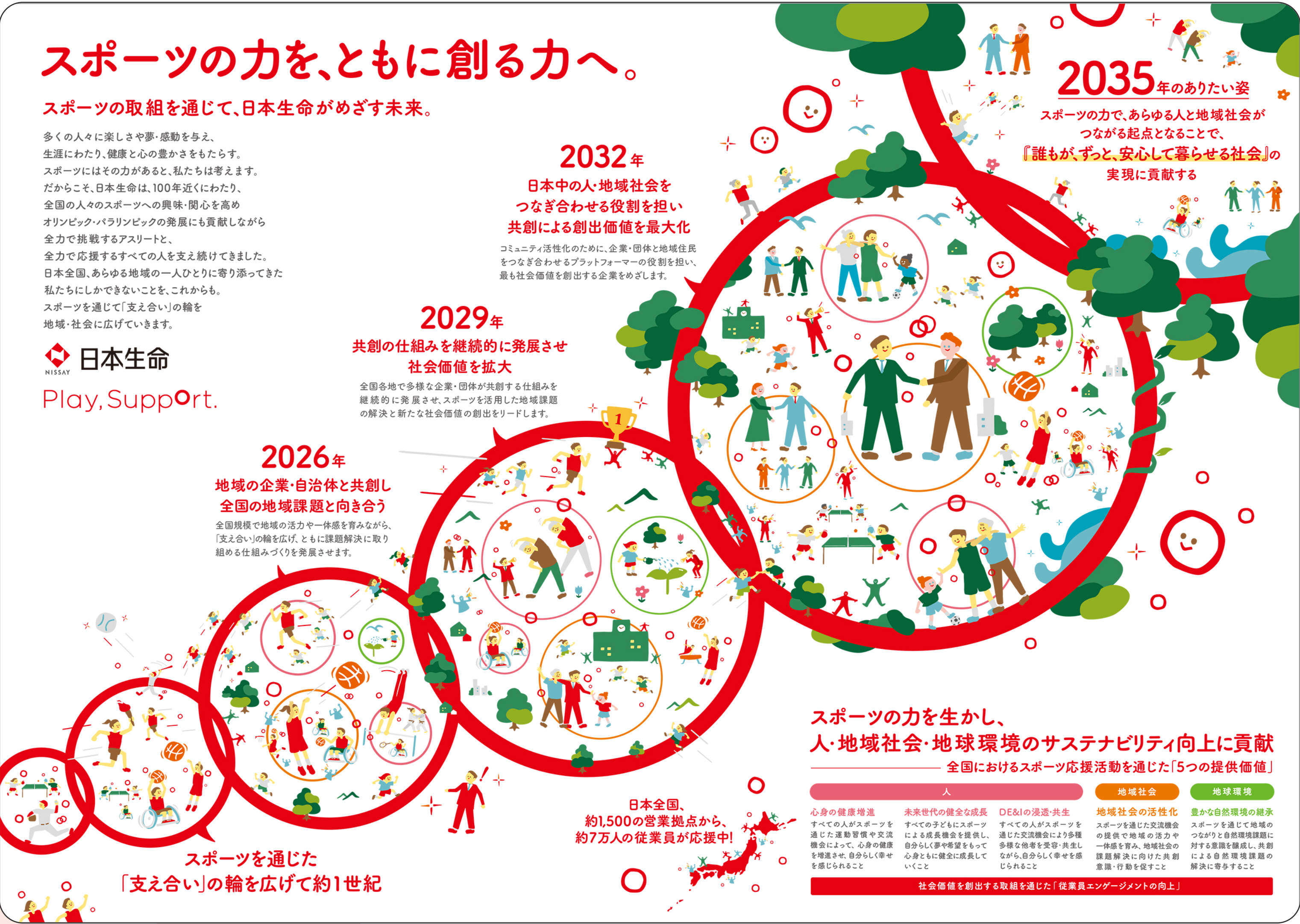
日本生命保険相互会社  
常務執行役員 鹿島 紳一郎





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

# 日本生命のスポーツ取組を通じた価値創造ストーリー



「スポーツの力で、あらゆる人と地域社会が繋がる起点となることで、『誰もが、ずっと、安心して暮らせる社会』の実現に貢献する」という2035年のありたい姿の実現に向け、「地域を元気に! バスケACTION」をはじめとする取組みを推進しています。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## 本レポート作成背景

### 発行の背景

B.LEAGUEと日本生命は、2024-25シーズンより「地域を元気に! バスケACTION」を全国で推進してきました。2年目となった2025-26シーズンは、各地で活動事例が蓄積し、単発の実施報告ではなく、プロジェクト全体の意義や価値を整理・可視化し、広く社会にお伝えする観点から、本レポートを発行いたします。

### 発行の目的

本レポートは、「地域を元気に! バスケACTION」の目指す姿や実施内容、各地で生まれた社会価値をわかりやすく整理し、社内外のステークホルダーに共有することを目的としています。プロジェクトへの理解と共感を広げるとともに、好事例を展開することによるクラブの機運醸成や、今後の取組みの高度化、地域・企業・自治体との新たな共創につなげていくことを目指します。

### 発行スコープ

本レポートでは、2025-26シーズン（2025年7月1日～2026年6月31日）の「地域を元気に! バスケACTION」を対象としています。「地域を元気に! バスケACTION」は、全国に広がるB.LEAGUEクラブ・日本生命・パートナー企業が連携し、「人」「地域社会」「地球環境」の3領域のサステナビリティ向上に資するアクションを策定・展開することを通じて、地域社会の繋がり・地域活性化を実現していく、共同事業です。

## | Chapter 2 「地域を元気に!バスケACTION」を 通じて描く未来





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## B.LEAGUE/日本生命 これまでの歩み



### 2021-22シーズン

日本生命がB.LEAGUE  
パートナーに就任  
B.LEAGUE FINALSの  
タイトルパートナーに

### 2023-24シーズン

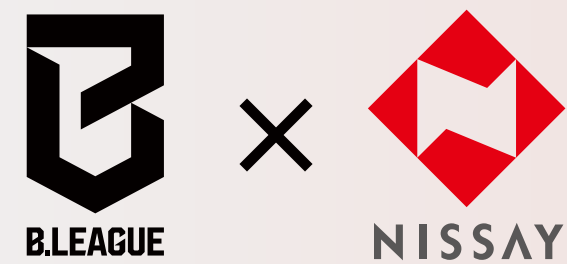
2シーズン連続  
ポストシーズン全体の  
タイトルパートナー

### 2024-25シーズン

「地域を元気に!  
バスケACTION」  
を開始

### 2025-26シーズン

バスケACTION  
2シーズン目  
全国各地で取組みを加速



2021

2024

2026

### 2022-23シーズン

B.LEAGUE FINALSの  
タイトルパートナーに加え  
ポストシーズン全体の  
タイトルパートナーに



### 2024-25シーズン

日本生命がB.LEAGUE  
サステナビリティ  
パートナーに就任

### 2025-26シーズン

「地域を元気に!  
バスケACTION」  
振り返りの場として  
ナレッジ共有会を開催





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

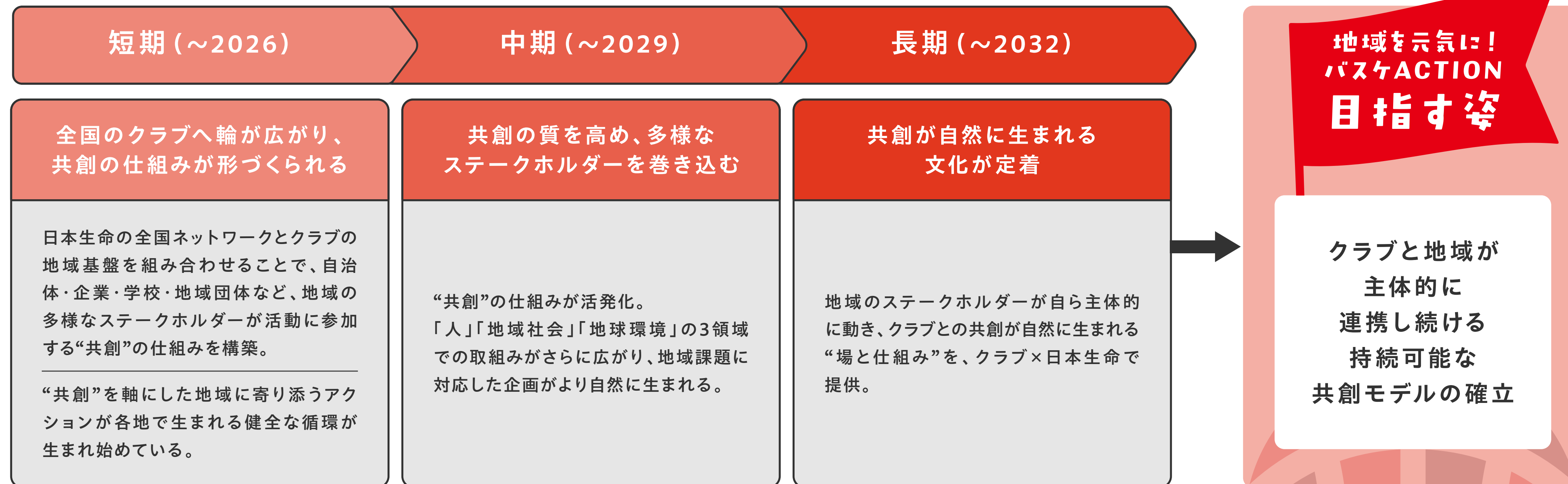
## 「地域を元気に!バスケACTION」が目指す姿

### 「地域を元気に!バスケACTION」とは

地域創生への貢献を目指すB.LEAGUEと、全国各地にネットワークを有する日本生命。  
両者が協力し、地域社会の活性化に向けた活動を各地域で展開・サポートしていく共同事業です。  
全国に広がるクラブと連携し、各クラブが「人」「地域社会」「地球環境」の3領域のサステナビリティ向上に資するアクションを策定し、地域を元気にすることを目指して活動していきます。



### 成長イメージ



## | Chapter 3 活動実績と共創事例





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

# SUMMARY

**5つの提供価値** 「地域を元気に! バスケACTION」では、日本生命グループのサステナビリティ重要課題である以下5つの提供価値に沿った取組みを推進しています。

|      | 人                                                          |                                                           |                                                          | 地域社会                                                       | 地球環境                                                       |
|------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
|      | ①心身の健康増進                                                   | ②未来世代の健全な成長                                               | ③DE&Iの浸透・共生                                              | ④地域社会の活性化                                                  | ⑤豊かな自然環境の継承                                                |
| 目指す姿 | すべての人がスポーツを通じた運動習慣や交流機会によって、心身の健康を増進させ、自分らしく幸せを感じられることを目指す | すべての子どもにスポーツによる成長機会を提供し、自分らしく夢や希望をもって心身ともに健全に成長していくことを目指す | すべての人がスポーツを通じた交流機会により多様な他者を享受・共生しながら、自分らしく幸せを感じられることを目指す | スポーツを通じた交流機会の提供で地域の活力や一体感を育み、地域社会の課題解決に向けた共創意識・行動を促すことを目指す | スポーツを通じて地域的つながりと自然環境課題に対する意識を醸成し、共創による自然環境課題の解決に寄与することを目指す |
| 活動例  | 観戦無料招待<br>バスケ教室                                            | 夢授業                                                       | 車いすバスケ体験会                                                | ビジネス交流会                                                    | 街中清掃活動                                                     |
| 実績   | 12企画実施<br>4,061人が参加<br>32社・自治体と共創                          | 18企画実施<br>3,722人が参加<br>54社・自治体と共創                         | 7企画実施<br>3,203人が参加<br>76社・自治体と共創                         | 17企画実施<br>4,035人が参加<br>222社・自治体と共創                         | 8企画実施<br>1,293人が参加<br>14社・自治体と共創                           |



「地域を元気に! バスケACTION」  
で繋がった人・企業・団体

62企画 16,314人 398企業・団体



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

# 各クラブ活動一覧

各クラブの主な取組みテーマ

|   |      |      |                |
|---|------|------|----------------|
| 人 | 地域社会 | 地球環境 | ★共創事例として次頁以降紹介 |
|---|------|------|----------------|

B1・B2全国39クラブと共に取組みを実施 凡例：クラブ名（連携支社名）：取組例 ※クラブ名、クラブロゴ、所属カテゴリおよび地区表記は2025-26シーズンのものです

## B1・東地区

- レバンガ北海道（札幌）：夢授業
- 仙台89ERS（仙台）：89ERSカップ・バスケゴールプロジェクト等
- ★秋田ノーザンハビネッツ（秋田）：無料招待・バスケ教室等
- ★茨城ロボッツ（水戸）：心のバリアフリープロジェクト等
- ★宇都宮ブレックス（宇都宮）：バスケクリニック・清掃活動
- 群馬クレインサンダーズ（太田）：清掃活動
- 越谷アルファーズ（埼玉東）：ビジネス交流会・農業体験等
- アルティ―リ千葉（千葉）：清掃活動
- 千葉ジェッツ（船橋）：清掃活動
- アルバルク東京（首都圏管内）：ビジネス交流会・チア教室
- サンロッカーズ渋谷（渋谷）：企業対抗バーチャル運動会等
- 川崎ブレイブサンダース（東京ベイエリア）：サーキュラーエコノミー
- 横浜ビー・コルセアーズ（横浜）：バスケ教室・無料招待



## B2・東地区

- 青森ワッツ（青森）：夢授業
- ★岩手ビッグブルズ（盛岡）：無料招待・夢授業
- 山形ワイヴァンズ（山形）：無料招待・夢授業
- 福島ファイヤーボンズ（福島・郡山）：無料招待・夢授業
- 横浜エクセレンス（横浜北）：清掃活動
- ★信州ブレイブウォリアーズ（長野）：学生向けビジネスセミナー等

## 【日本生命独自取組み】

- B3の全クラブとも地域を元気にする取組みを推進！
- しながわシティバスケットボールクラブ（東京ベイエリア）：無料招待
  - 東京ユナイテッドバスケットボールクラブ（京葉ベイエリア）：清掃活動
  - さいたまブロンコス（さいたま）：無料招待・バスケ教室
  - アースフレンズ東京Z（東京ベイエリア）：無料招待
  - 湘南ユナイテッドBC（湘南）：無料招待
  - 東京八王子ビートレインズ（東京西）：日本生命カップ
  - 立川ダイス（東京西）：バスケ教室・無料招待
  - 新潟アルビレックスBB（長岡）：夢授業



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に！バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

# 各クラブ活動一覧

各クラブの主な取組みテーマ

|   |      |      |                |
|---|------|------|----------------|
| 人 | 地域社会 | 地球環境 | ★共創事例として次頁以降紹介 |
|---|------|------|----------------|

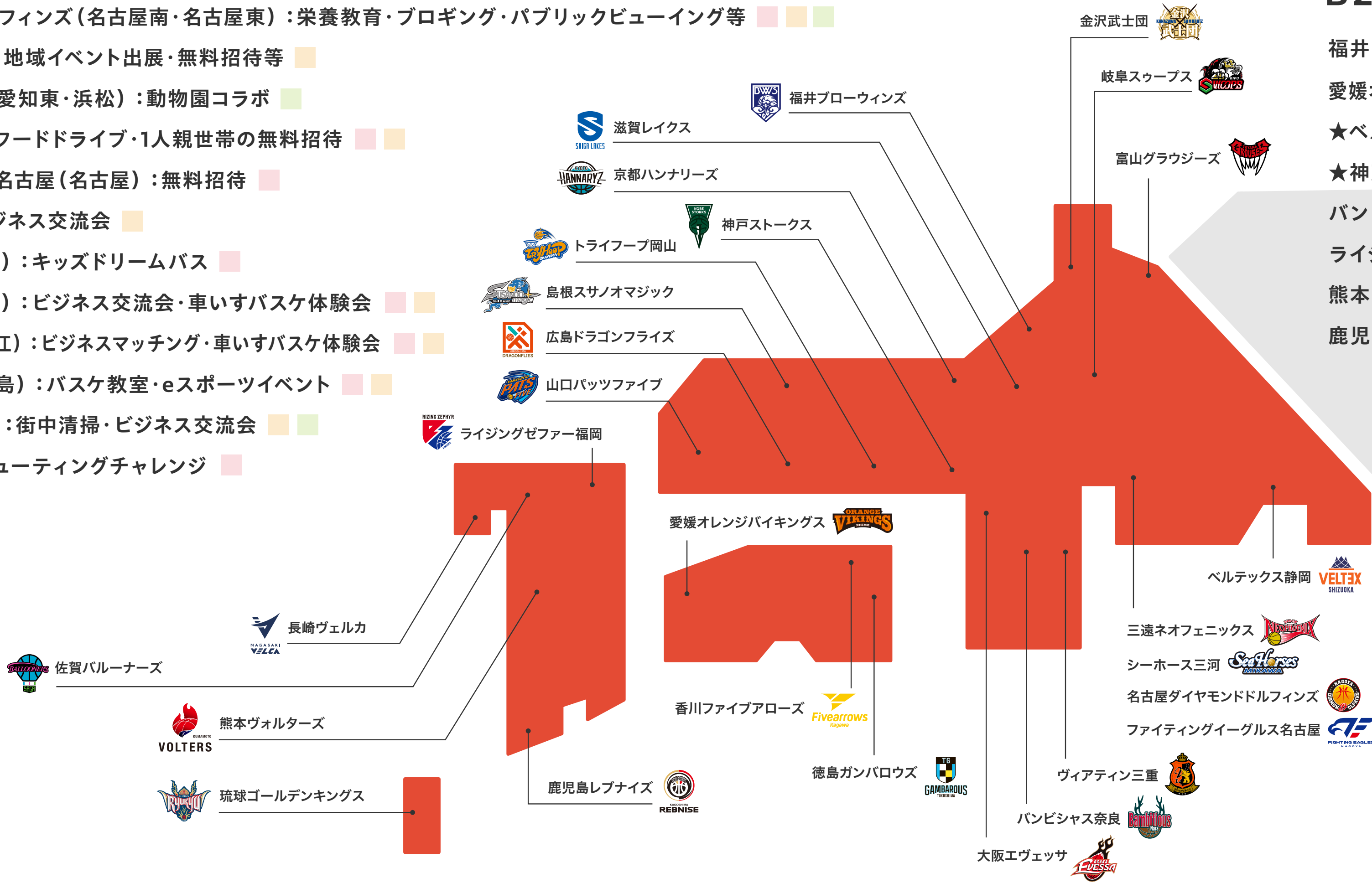
B1・B2全国39クラブと共に取組みを実施

凡例：クラブ名（連携支社名）：取組例

※クラブ名、クラブロゴ、所属カテゴリおよび地区表記は2025-26シーズンのものです

## B1・西地区

- ★名古屋ダイヤモンドドルフィンズ（名古屋南・名古屋東）：栄養教育・プロギング・パブリックビューイング等
- 富山グラウジーズ（富山）：地域イベント出展・無料招待等
- ★三遠ネオフェニックス（愛知東・浜松）：動物園コラボ
- シーホース三河（刈谷）：フードドライブ・1人親世帯の無料招待
- ファイティングイーグルス名古屋（名古屋）：無料招待
- 滋賀レイクス（滋賀）：ビジネス交流会
- 京都ハンナリーズ（京都西）：キッズドリームバス
- 大阪エヴェッサ（大阪管内）：ビジネス交流会・車いすバスケット体験会
- ★島根スサノオマジック（松江）：ビジネスマッチング・車いすバスケット体験会
- 広島ドラゴンフライズ（広島）：バスケット教室・eスポーツイベント
- 佐賀バルナーズ（佐賀）：街中清掃・ビジネス交流会
- 長崎ヴェルカ（長崎）：シューティングチャレンジ



## B2・西地区

- 福井ブローウィングス（福井）：ブローウィングス体操
- 愛媛オレンジバイキングス（松山）：車いすバスケット体験会・ビジネス交流会
- ★ベルテックス静岡（静岡）：無料招待
- ★神戸ストークス（兵庫管内）：車いすバスケット体験会
- バンビシャス奈良（奈良）：無料招待・夢授業
- ライジングゼファー福岡（福岡総合）：観戦バスツアー
- 熊本ヴォルターズ（熊本）：地下水保全活動
- 鹿児島レブナイズ（鹿児島）：夢授業

## 【日本生命独自取組み】

B3の全クラブとも地域を元気にする取組みを推進！

- 金沢武士団（金沢）：無料招待・街中清掃
- 岐阜スーパース（岐阜）：夢授業
- トライフープ岡山（岡山）：キャリア教育・無料招待
- 山口パッツファイブ（山口）：無料招待
- 徳島ガンバローズ（徳島）：無料招待
- 香川ファイブアローズ（高松）：無料招待



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## ①心身の健康増進

ベルテックス静岡×静岡支社

**無料招待**

試合観戦を通じて静岡市の良さをアピールするため、静岡市への移住者を中心に、地元企業・地域住民を無料で招待。

実績

**1,350**人が参加 **1**自治体と共創

共創役割・ステークホルダー関係図



### クラブからのコメント

日本生命と静岡市が包括連携協定を締結しているため、静岡市移住者へしっかりとアプローチすることができました。また、日本生命様の営業の方々のご協力のもと、より多くの企業の方々に試合観戦に招待することができました。引き続き取組みを継続し、多くの方に静岡で生活するうえでの楽しみ方を伝えていきたいと思っています。

### 参加者の声

- ・なかなかスポーツ観戦をする機会はなかったが、楽しかったため2回目の観戦に行ってきました。
- ・こどもたちのスポーツの選択肢の1つになった気がします。
- ・こどもたちの喜ぶ笑顔が見れました。



### Pickup! POINT

クラブ、日本生命で密に連携し取組を実施。自治体を巻き込みながら、年に複数回、継続して開催しており、社会価値の創出に成功しているため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

# ①心身の健康増進

| 人       | 地域社会       | 地球環境       |
|---------|------------|------------|
| 心身の健康増進 | 未来世代の健全な成長 | DE&Iの浸透・共生 |
|         | 地域社会の活性化   | 豊かな自然環境の継承 |

## 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ× 名古屋南・名古屋東支社 学生とコラボした栄養教育

愛知学院大学の学生と連携し、来場者やU15の選手に対し、健康・栄養への関心を高め、健康に良い食事の選択を意識づけることを目的に実施された取組み。

### 実績

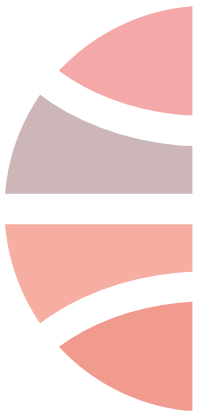
538人が参加 1自治体と共創

- ・ 事前ミーティングでの企画考案～ホームゲーム会場での体験型ブースの実施、ユースへの栄養指導も実施
- ・ 体験型ブースでは、「ベジチェック®」を活用し、日々の野菜摂取量を可視化することで、参加者が自身の食生活を理解し、健康・栄養への意識を高めることを目的に実施



### クラブからのコメント

ベジチェック®というツールを活用することで、野菜摂取状況の可視化を図り、ファンから育成世代まで、横断して行動変容に繋がる、一貫性のある取組みを実施することができました。  
また、体験型ブースでは選手の測定結果を用いることで、ファンの皆さまにも関心をもっていただくことができ、地域課題に対してアクションを起こすことができたと感じています。



### Pickup! POINT

全国で3番目に学生が多いという地域特性を活かし、地域特有の課題解決のために、自治体・地元学生と連携して取組みを行っているため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## ② 未来世代の健全な成長

| 人       |            | 地域社会       | 地球環境       |
|---------|------------|------------|------------|
| 心身の健康増進 | 未来世代の健全な成長 | DE&Iの浸透・共生 | 地域社会の活性化   |
|         |            |            | 豊かな自然環境の継承 |

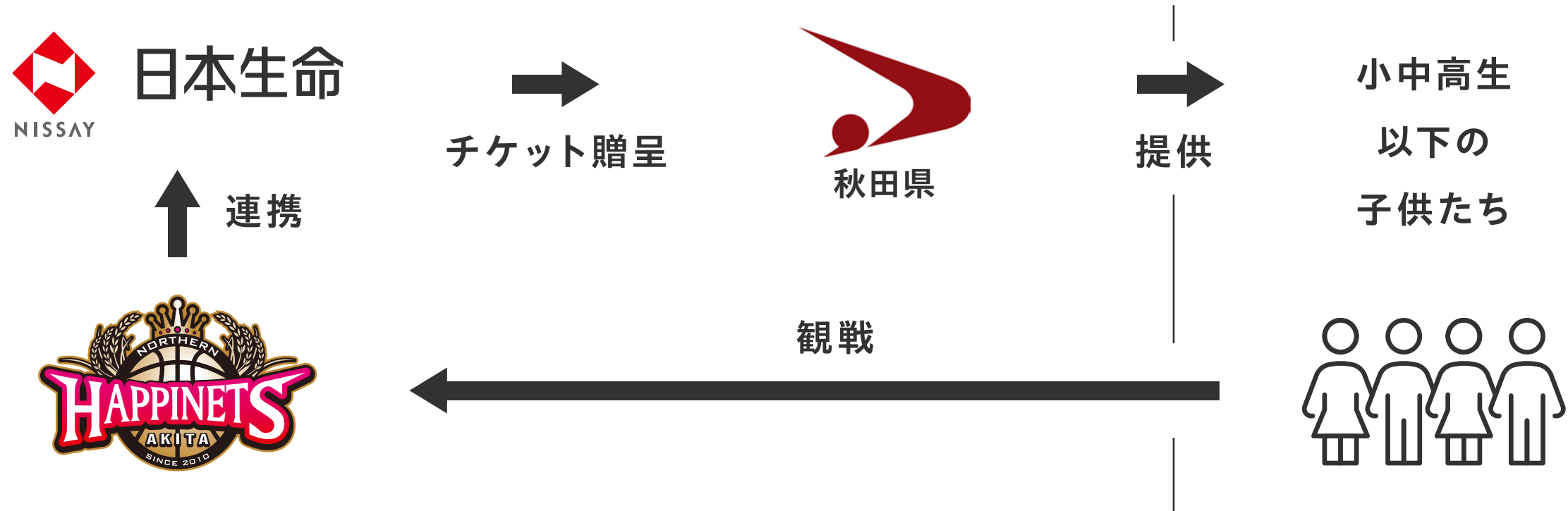
秋田ノーザンハピネッツ×秋田支社  
**無料招待**

子どもたちがスポーツに親しめる環境づくり、夢や目標にチャレンジするきっかけの提供を目的として、ホームゲーム3試合を対象に、未就学児～小中高生のご招待プロジェクトを実施。

実績

**877**人が参加 **1**自治体と共創

共創役割・ステークホルダー関係図



### クラブからのコメント

予想を上回る多くの応募をいただき、普段プロスポーツに触れる機会が少ない子供たちに観戦体験を提供することができたと感じています。

また、11月の実施時は、がんによる死亡率が極めて高い秋田県民の、健康意識の改善・がん検診の受診を促すべく、ベジチェック®(野菜摂取量の計測)を参加の条件とした、抽選会も実施し、健康領域において、別角度からも地域の課題の解決に寄与することができました。



### Pickup! POINT

クラブ、秋田県と連携し、継続した無料招待の実施に加え、地域特有の課題解決に資する取組みを実施。今後は地元医療機関との共同実施を目指しており、今後の発展にも期待できるため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## ② 未来世代の健全な成長

岩手ビッグブルズ×盛岡支社  
夢授業

山田町の中学校2校で、中学生が自身の夢・目標について考えるきっかけの提供を目的に、元選手による「夢」に関する講話とバスケ体験を実施。

### 共創役割・ステークホルダー関係図



### クラブからのコメント

スポーツをやっていない生徒にも、聞いた話が今後の夢を考える、夢に向かって取組んでいく上で参考になるよう工夫をしました。また、バスケ体験では、ただ体験するだけでなく、協力すること、相手の事を想って行動してみること、チャレンジしてみることが重きをおいて実施しました。

### 参加者の声

- ・何事にも挑戦をし、選べる進路を増やすことの大切さに気付くことができました。
- ・目の前に壁があるときも精一杯努力して壁を乗り越えて見せるという気持ちを持つことができました。

人

地域社会

地球環境

心身の健康増進

未来世代の健全な成長

DE&Iの浸透・共生

地域社会の活性化

豊かな自然環境の継承

### 実績

199人が参加 1自治体と共創



### Pickup! POINT

クラブ、自治体、日本生命が連携して取組みを実施。今後も岩手県内の各自治体と連携しながら継続的に取組みを行い、社会価値の拡大を目指す。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

### ③DE&Iの浸透・共生

| 人       |            | 地域社会       | 地球環境       |
|---------|------------|------------|------------|
| 心身の健康増進 | 未来世代の健全な成長 | DE&Iの浸透・共生 | 地域社会の活性化   |
|         |            |            | 豊かな自然環境の継承 |

神戸ストークス×兵庫管内

#### 車いすバスケフェス

車いすバスケを見るだけでなく、体験することを通して、「車いすバスケの魅力」にとどまらず、「違いを楽しむ」「不便を面白さに変換する」などの新しい発想に触れていただく機会を提供。

実績

20人が参加

- ・ GLION ARENA KOBEでの車いすバスケ体験会
- ・ 車いすバスケアスリートおよび神戸ストークスOBによるデモンストレーション
- ・ 来場者向け車いすフリースローチャレンジ

#### 共創役割・ステークホルダー関係図



#### クラブからのコメント

「車いすバスケ体験会」を実施するだけでは、限定的な対象者への訴求にとどまってしまうところ、試合開始直前のタイミングでのデモンストレーションや、アリーナ外でのフリースローチャレンジを通して、より多くの方に接点を持っていただくことを意識して開催しました。



#### Pickup! POINT

ホームゲームにて、車いすバスケ体験会・コート上でのスキルチャレンジ・車いすバスケシュートチャレンジを開催。1日を通じて車いすバスケットボールに触れ合う機会を多く創出し、「DE&Iの浸透・共生」につながったため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

③DE&Iの浸透・共生

| 人       |            | 地域社会       | 地球環境       |
|---------|------------|------------|------------|
| 心身の健康増進 | 未来世代の健全な成長 | DE&Iの浸透・共生 | 地域社会の活性化   |
|         |            |            | 豊かな自然環境の継承 |

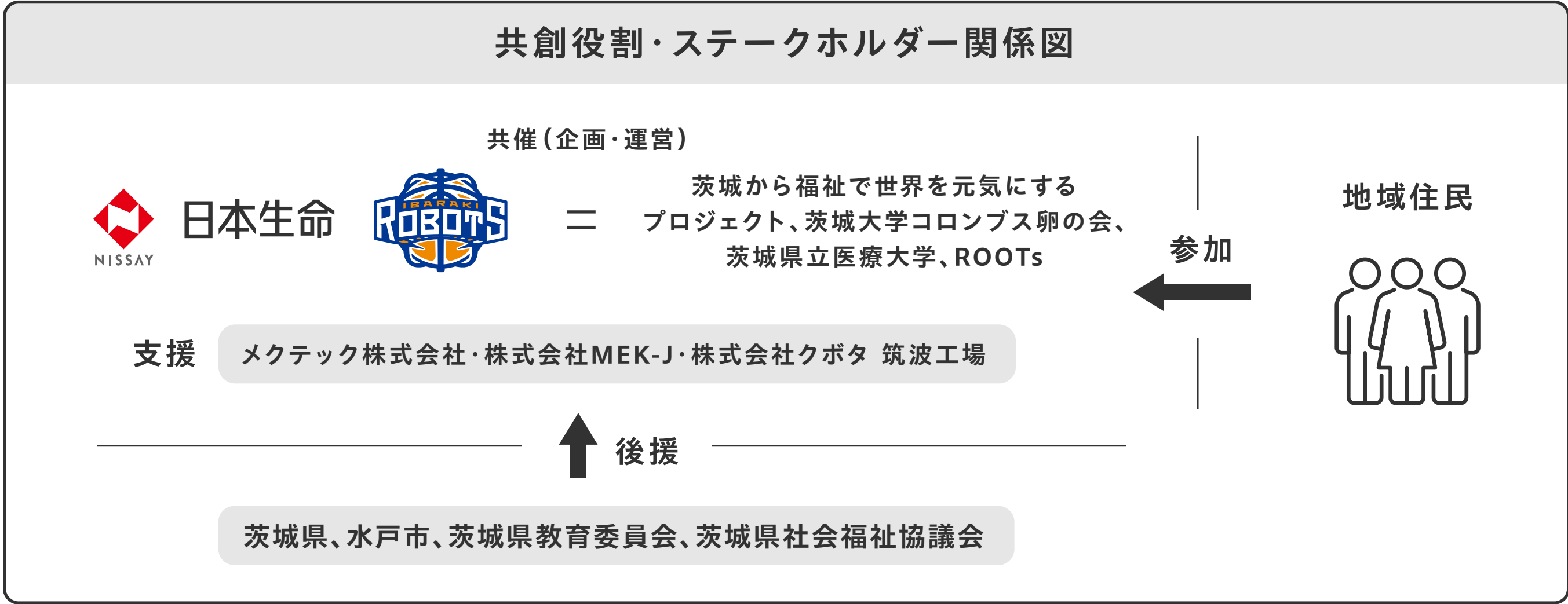
茨城ロボッツ×水戸支社

心のバリアフリープロジェクト

車いすバスケットボールを通した「交流」や、車いすに実際に乗ってフィールドワークをする「体験」を提供し、社会側にある障がいを取り除く「心のバリアフリー化」を目指した活動。

実績

650人が参加 31社と共創



クラブからのコメント

- ・車いすに乗っての街歩きは想像を超える苦勞がありました!思っていた以上の発見があり、親子共々参加して本当に良かったです!
- ・街歩きでは「段差の怖さ」を知りましたが、バスケブースでは「車いすを操る楽しさ」を知りました。車いすが単なる福祉用具ではなく、スポーツギアとしてもかっこいいと感じました。
- ・イベントでは、「人は体験からしか学べない」ということを改めて身に沁みて感じました。また、スポーツと地域住民と地域企業がつながる可能性を強く感じることができました。



Pickup! POINT

複数の自治体・地元企業・地元学生を巻き込むことで、ひとつの取組みが創出する価値を拡大したため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

④地域社会の活性化

人

地域社会

地球環境

心身の健康増進

未来世代の健全な成長

DE&Iの浸透・共生

地域社会の活性化

豊かな自然環境の継承

信州ブレイブウォリアーズ×長野支社

学生向けビジネスセミナー

プロスポーツクラブと地域企業の連携の在り方について、学生が学び、考えてもらう機会の提供を目的に、地域企業と共創し、パネルディスカッションとワークショップを開催。

実績

19人が参加 4社と共創



クラブからのコメント

2部構成のセミナー（パネルディスカッション・ワークショップ）＋ラウンジ交流（試合観戦を含む）の枠組みで実施しました。地域課題解決型のワークショップでは企業、クラブ、参加した学生3者にとって新たな気づきや学びを深める機会となりました。

参加者の声

将来の目標が決まっていなかったが、セミナーに参加したことでマーケティングの仕事が向いてるのかなと将来の道を選ぶきっかけになった。大学で学んでいる内容を活かすことができた、企業の方と直接話す有意義な時間でした。様々な年齢や大学の方と話し合うことで、自分にはなかった視点を知ることができ、さらに発展した意見を考えることができました。



Pickup! POINT

クラブのパートナーである複数の地元企業と共創し、「スポーツを活用してどう地域課題を解決するか」について、地元の学生と意見交換を行い、クラブ・企業・学生で社会価値を創出することに成功した事例であるため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

④地域社会の活性化

人

地域社会

地球環境

心身の健康増進

未来世代の健全な成長

DE&Iの浸透・共生

地域社会の活性化

豊かな自然環境の継承

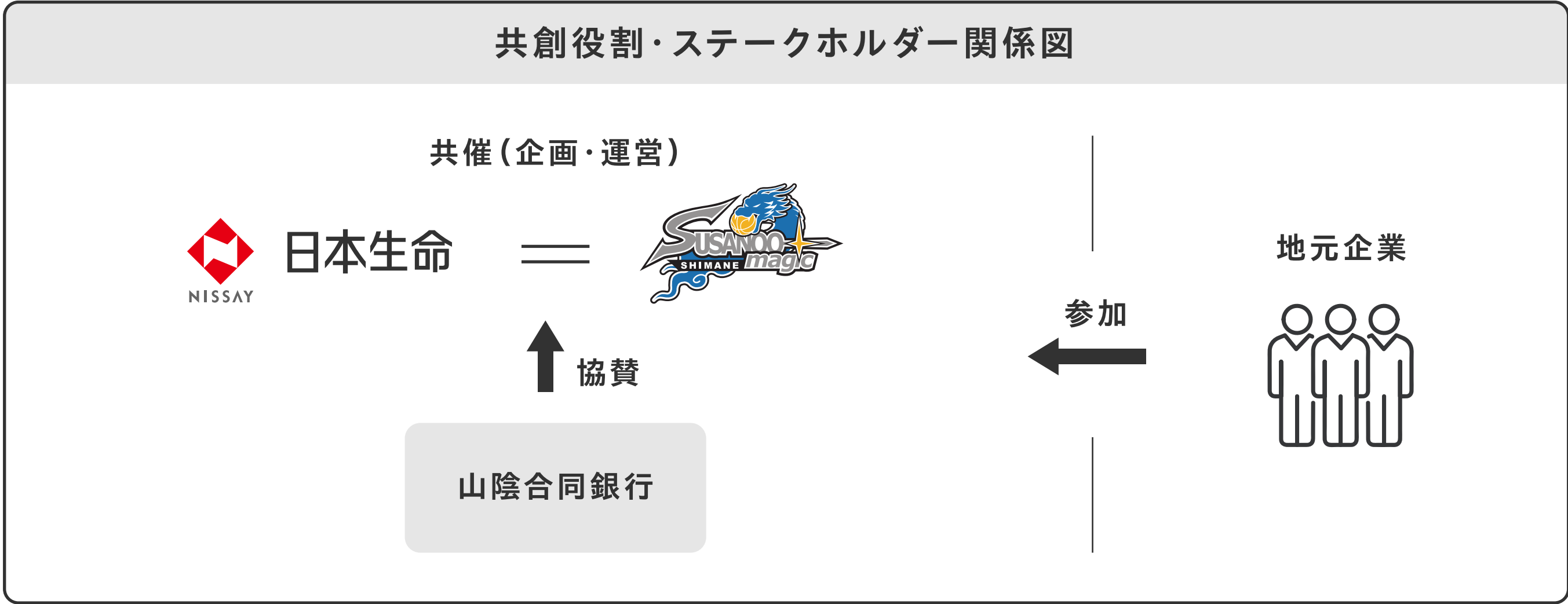
島根スサノオマジック×松江支社

地域活性化セミナー&交流会

地域企業との交流、地域活性化の促進を目的とし、クラブのパートナーおよび日本生命のお客様を対象に、“スポーツを起点にした地域活性化”にまつわる講演とクロストークおよび、交流会を開催。

実績

40企業 80人が参加 1社と共創



クラブからのコメント

人口減少や地域経済の縮小といった課題を背景に、プロスポーツ観戦と企業交流を組み合わせた本企画を実施しました。

企業交流会では、業種を超えたつながりが生まれ、新たなビジネス連携のきっかけづくりにつながりました。参加者からも満足度の高い声が寄せられ、スポーツをきっかけとした交流の有効性を実感いただく機会となりました。

Pickup! POINT

クラブスポンサーである山陰合同銀行を巻き込むことで地元企業の参加を促し、企業同士の交流を促すとともに、地域全体で島根県の地域活性化について考えるきっかけを提供できたため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

⑤ 豊かな自然環境の継承

宇都宮ブレックス×宇都宮支社  
街中清掃

ホームタウン宇都宮市のきれいな街づくりを目的に、  
地域住民の皆さまと街中の清掃活動を実施。  
当日はチアメンバーやマスコットも参加。

共創役割・ステークホルダー関係図



クラブからのコメント

清掃活動を通して、ファンの皆さまの交流も促進しつつ、地域への所属意識や愛着を向上させる機会にすることができたと感じています。

参加者の声

- ・ 1人ではできない活動ですが、みんなで集まることで楽しく活動ができた。
- ・ 想像以上にゴミが落ちており、地域に貢献できた実感があった。
- ・ 前回参加して楽しかったため今回も参加した。今回もたくさんゴミを拾えて楽しかった。

人

地域社会

地球環境

心身の健康増進

未来世代の健全な成長

DE&Iの浸透・共生

地域社会の活性化

豊かな自然環境の継承

実績

64人が参加 1自治体と共創



Pickup! POINT

クラブ、日本生命、自治体の3者が、企画・参加者募集・当日の運営を連携して行っており、今後は地元企業の巻き込みを図り、取組みを拡大しているため。



「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に！バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

# ⑤ 豊かな自然環境の継承

人

地域社会

地球環境

心身の健康増進

未来世代の健全な成長

DE&Iの浸透・共生

地域社会の活性化

豊かな自然環境の継承

三遠ネオフェニックス×愛知東・浜松支社

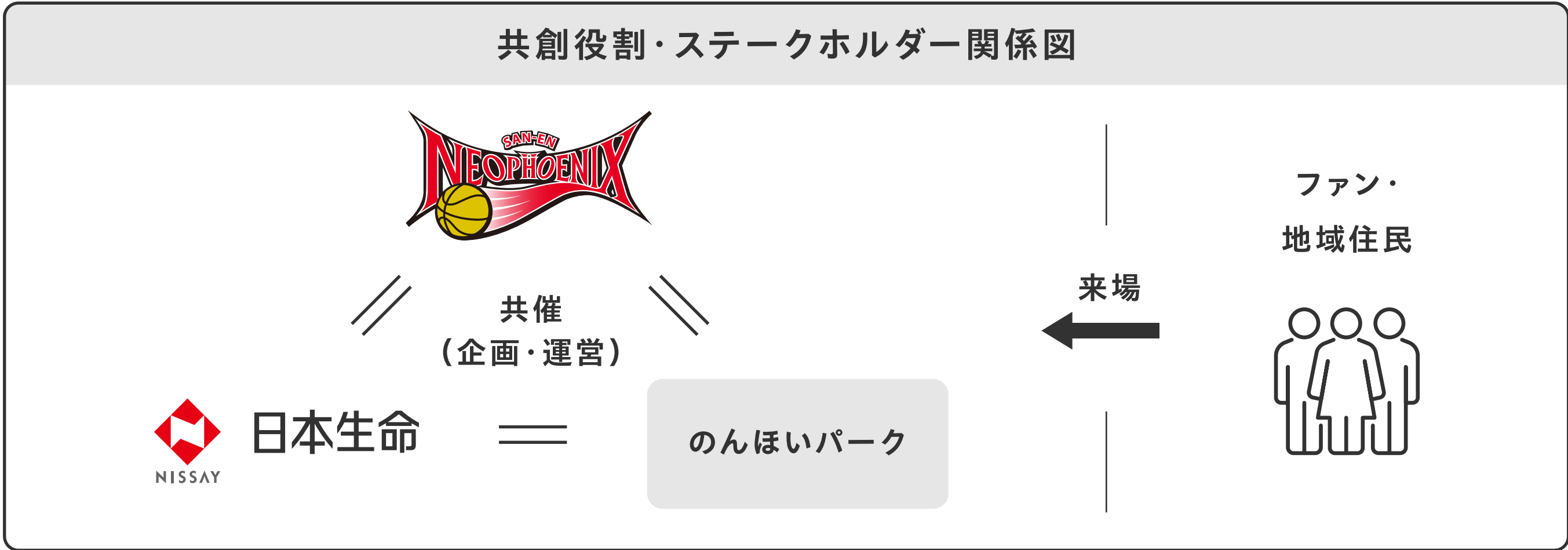
動物園企画

三遠地域を代表する人気スポット「のんほいパーク」と共に環境保全について考える機会を創出するイベントを開催。

実績

53人が参加 1自治体と共創

- ・園内に飼育されている動物と三遠ネオフェニックスの選手が一緒になって全13種類のオリジナルパネルを展示
- ・パネルの専用QRコードを読み込むと三遠ネオフェニックスの選手による解説動画が閲覧できるほか、中央門前には特大パネルも展示



## クラブからのコメント

歴史があり地域の誇りとなっている「のんほいパーク」と初めてコラボすることができ、クラブとしても認知度・好感度アップにつながった。多くのブースターの方々にも「のんほいパーク」に足を運んでいただき環境保全について考える機会を作ることができたのではないかと思います。

参加者からは通年で動物と選手のコラボをやってほしいという声や、子供のころに行った以来久しぶりに「のんほいパーク」に行くきっかけになったなど喜びの声をいただきました。



## Pickup! POINT

クラブ、日本生命、地元の憩いの場である動物園が一体となり、地球環境問題について考える機会を提供するとともに、それぞれのファンコミュニティをつなぐことで、地域活性化にもつながったため。

## | Chapter 4 未来に向けて





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に! バスケACTION」2025-26シーズン Action Report

## 未来に向けて

### バスケACTIONを通じて“地域を元気に!”

この取組みが次のステージへと進むためには、「共創の輪」をさらに広げ、持続的に育てていくことが欠かせません。中期的には、クラブ・支社に加えて、より多くの自治体や企業、地域団体、学校など、多様なステークホルダーを巻き込みながら、地域課題の解決につながる企画がより自然に生まれる状態を目指します。各地に芽生えた取組みが、地域特性に応じて深まり、広がっていくことを期待しています。

さらに長期的には、「地域を元気に! バスケACTION」が地域に根ざした共創の基盤として定着し、クラブと地域が主体的に価値を生み出し続けるモデルに発展していくことを見据えています。日本生命は、活動を“支える側”としてだけでなく、地域とのつながりを生み出す「場」や「仕組み」を提供し、さまざまな主体が自ら動き出す環境づくりを後押ししていきます。

その先には、B.LEAGUEクラブを中心に、多様なステークホルダーが互いの強みを持ち寄り、地域のために自然と動き出す関係性が育まれ、「地域を元気に! バスケACTION」が地域にとって必要な活動として自走し続ける、持続可能な社会価値創出モデルの確立があります。

バスケットボールを通じて生まれたつながりが、地域の新しい挑戦や学びの源泉となり、一つのクラブや企業の枠を超えた“地域全体の力”へと広がっていくことが期待されます。

こうした前向きな動きをこれからも力強く後押ししていくために、B.LEAGUEと日本生命は、互いにパートナーとして歩みを進め、クラブや地域の皆さまとともに、共創の輪を育んで参ります。

これまで本取組みに参加いただいたクラブ、自治体、パートナー企業の皆さま、そして地域の皆さまに、心より感謝申し上げます。

B.LEAGUE  
日本生命保険相互会社





「B.LEAGUE Hope×日本生命 地域を元気に!バスケACTION」  
(2025-26シーズン)

# Action Report

発行日 2026年7月  
発行 公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ  
日本生命保険相互会社  
編集 株式会社電通  
制作協力 B.LEAGUE、B.LEAGUE所属クラブ

